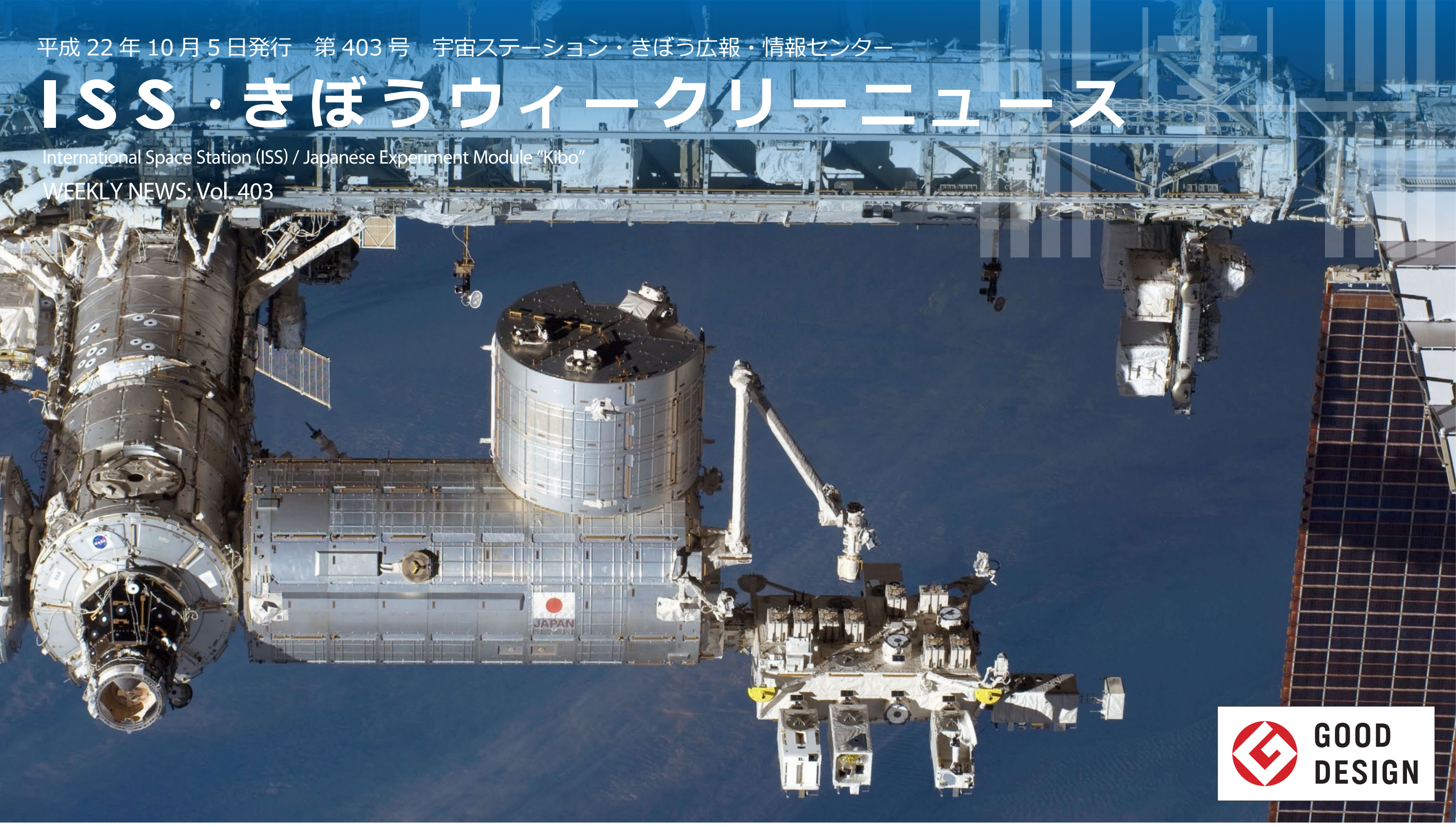
平成 22 年 10 月 5 日発行　第 403 号　宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ISS・きぼうウィークリーニュース

International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

WEEKLY NEWS: Vol. 403



国際宇宙ステーション（ISS）の「きぼう」日本実験棟（出典：JAXA/NASA）

トピックス

「きぼう」が「2010 年度グッドデザイン賞ベスト 15」を受賞しました！

「きぼう」日本実験棟が、2010 年度グッドデザイン賞（G マーク）にて「グッドデザイン賞ベスト 15」を受賞し、11 月に選出される大賞の候補となりました。

今回のグッドデザイン賞で、「きぼう」は「耐久性、安全性、操作性、高気密性など極限まで追求し、宇宙デブリ（ゴミ）からもプロテクトする新工法が考えられており宇宙スケールのグッドデザインである」と高く評価されました。

JAXA では、今回の受賞を機に、より多くの方々に「きぼう」を利用いただき、科学的知見を得ること、地上の生活へ成果をフィードバックさせること、また日本の将来の有人宇宙活動を支える技術とデザインを開拓することを目指します。

Website info

「きぼう」の「2010 年度グッドデザイン賞ベスト 15（グッドデザイン大賞候補）」受賞について
http://kibo.jaxa.jp/archive/2010/09/good_design_award_2010.html

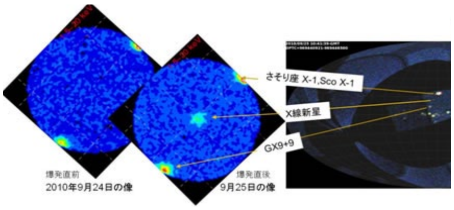
「きぼう」の中で作業を行う野口宇宙飛行士
（出典：JAXA/NASA）

MAXI により「へびつかい座」に出現した X 線新星を発見、世界に速報

9 月 25 日、「きぼう」日本実験棟船外実験プラットフォームに設置された全天 X 線監視装置（MAXI）によって「へびつかい座」に出現した X 線新星を発見し、世界に速報しました。

この X 線新星は MAXI 新星速報システムが捉えたもので、詳細な解析の結果、登録されていない新天体であることを確認し、MAXI J1659-152 と命名するとともに天文電報 ATel を通じて世界に速報しました。この速報を受け、世界の多くの天文台で X 線、ガンマ線、光、電波による観測が行われています。

2009 年 10 月以来、MAXI の運用により得られた観測データに基づき、50 回以上の速報を行っています。今後も超新星やブラックホールと関わりの深い X 線新星、γ線バーストなどの変動現象を世界中に速報し、光や電波などとの同時観測を促進します。

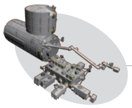


新星が発見された 9 月 25 日前後の全天画像の比較（出典：JAXA/RIKEN/MAXI チーム）

Website info

全天 X 線監視装置（MAXI）による X 線新星の発見
http://www.jaxa.jp/press/2010/09/20100929_maxi_j.html

今週のきぼう



船内実験室運用開始から**852**日経過

FACET再実験、JAXA PCG実験などを継続中

「きぼう」日本実験棟船内実験室では、流体実験ラックの溶液結晶化観察装置（SCOF）にて「ファセット的セル状結晶成長機構の研究」（FACET）実験の高精度データ取得を断続的に行っています。

また、蛋白質結晶生成装置（PCRF）では、「タンパク質結晶生成実験」（JAXA PCG）の3回目が行われています。

そのほか、2次元ナノテンプレート作製実験を「デスティニー」（米国実験棟）の冷凍・冷蔵庫（MELFI）で引き続き行っています。

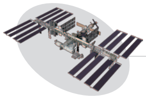
「きぼう」船外実験プラットフォームでは、宇宙環境計測ミッション装置（SEDA-AP）と全天X線監視装置（MAXI）の観測運用が続けられています。なお、超伝導サブミリ波リム放射サウンダ（SMILES）は、観測運用の再開に向けた作業が引き続き進められています。

Website info

ファセット的セル状結晶成長機構の研究
http://kibo.jaxa.jp/experiment/theme/first/facet/

「きぼう」での実験（各実験の詳細はこちら）
http://kibo.jaxa.jp/experiment/

今週の国際宇宙ステーション



最初のISS構成要素打上げから**4337**日経過

クルーはTVISのメンテナンス作業や24Sの到着に向けた準備などを実施

第25次長期滞在クルーとなったウィーロック宇宙飛行士ら3名は、科学実験や制振装置付きトレッドミル（TVIS）のメンテナンス作業、ソユーズ宇宙船（24S）の到着に向けた準備などに忙しい日々を過ごしました。

新たに第25次長期滞在クルーに加わるケリー宇宙飛行士ら3名を乗せた24Sは、10月8日午前8時10分にカザフスタン共和国のバイコヌール宇宙基地から打ち上げられ、打上げから2日後の10月10日にISSへドッキングする予定です。

ケリー宇宙飛行士らは、バイコヌール宇宙基地で打上げに向けた最終訓練を行っています。

Expedition 25 Crew

ISS滞在109日経過
ダグラス・ウィーロック（NASA）
シャノン・ウォーカー（NASA）
フョードル・ユールチキン（ロシア）

10月10日からISS滞在開始予定（24Sに搭乗）
スコット・ケリー（NASA）
アレクサンダー・カレリ（ロシア）
オレッグ・スクリポチカ（ロシア）

最終訓練中の（左から）ケリー、カレリ、スクリポチカ宇宙飛行士
（出典：S.P.Korolev RSC Energia）

Website info

24Sミッションページ
http://iss.jaxa.jp/iss/24s/

インフォメーション

JAXA事業「元気な日本復活特別枠」で皆様のご意見を募集しています！

政府では、国民の皆様の声を来年度の国の予算づくりに反映させる政策コンテストの一環として、「元気な日本復活特別枠」要望に関するパブリックコメントを実施し、国の事業に対する国民の皆様からのご意見を広く募集しています。

JAXA事業では、回収機能付宇宙ステーション補給機（HTV-R）などの事業を、文部科学省施策の中で要望しています。JAXA事業に関する皆さまのご意見を、政府ホームページ宛にぜひお送り下さい。

Website info

「元気な日本復活特別枠」要望に関するパブリックコメント（10月19日（火）17:00応募締切）
http://www.jaxa.jp/info_public_j.html

more information

▶ 10月16日（土）平成22年度「宇宙の日」筑波宇宙センター特別公開のお知らせ　http://www.jaxa.jp/visit/tsukuba/topics_j.html
古川宇宙飛行士が米国ヒューストンと筑波宇宙センターを結んでライブ中継で講演を行うほか、「きぼう」運用管制室の公開など、イベントが盛りだくさんです。イベントの内容や筑波宇宙センターへのアクセスなどの詳細は、特別公開のお知らせをご覧ください。皆様のご来場をお待ちしています。

問い合わせ先：宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター
ホームページ http://iss.jaxa.jp/　Eメール kibo-pao@jaxa.jp
ウィークリーニュースメーリングサービス登録 http://iss.jaxa.jp/weekly/

※特に断りのない限り日付は日本時間です。

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。

JAXA 宇宙航空研究開発機構 Japan Aerospace Exploration Agency